


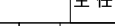

ボーリング柱状図

調 査 名 一般県道竹原吉名線道路改良事業に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	6	8	9	0	0	7
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名		B-7		調査位置		測点NO.8+21.5 L16.5				北緯		34° 19' 13.9300"											
発注機関		広島県西部建設事務所東広島支所				調査期間		平成29年 2月 1日～平成29年 2月 6日				東経		132° 52' 25.4000"									
調査業者名				主任技師				現 場 人		コ ー 定 者				ボーリ ング 責任者									
孔口標高		DL 40.70m		角				方 向				地盤勾配		33' 鉛 直 90° 水平 0° 		使用機種		試錐機 東邦D-1		ハンマー 落下用具		半自動型	
総掘進長		18.00m		度		0°		向		0°		コ ー 定 者				ポン プ		東邦BG-3C					

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化状態	変質	記 事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 — cm R Q D — [ % ]	岩 級	孔内水位／測定月日	標準貫入試験		N 値	原位置試験	室内試験	掘 進 状 況						
														深 度 m	打 撃 回 数 ／ 貫 入 量 回/cm				掘 進 月 日	掘 進 速 度 cm / 時	孔 径 ／ 孔 壁 保 護	給 水 圧 数 MPa T p p	送 水 量 MPa 1 / 分	送 水 量 MPa 1 / 分	排 水 量 MPa 1 / 分
1	39.70	1.00		砂質シルト	暗茶褐					0.35mまで草根含む表土。1m付近まで産廃堆積物の砂質シルト。下位との境界は不明瞭。	100	—		1.15	24/30				600	シングル／メタル					
2				中粒砂岩	茶					2.65mまで細礫を含む強風化した凝混しり中粒砂岩で、半固結状をなし、細粒分を多く含む。2.5m付近に木根を、2.6mに軽石とφ6mmのガラス細片を含む。	100	DM	2/ 4 2/ 10	1.45	20/30				400			0.0	無水 / 0.0	0.0	
3	38.05	2.65									100		2/ 3 3/ 24	2.15	20/30				3000						
4				流紋岩	茶褐					2.65mで強風化し、変質して軟質な流紋岩質凝灰岩に層着。境界は不明瞭。岩石組織みられ、中粒の石英、長石片が確認される。3.7mまで変質が著しい。	100		2/ 6 4/ 80	2.45	28/30				600	リ フ ル コ ー チ ー ー フ / シ ン グ					
5										6.9mまで中粒組織の結晶質凝灰岩で石英粒子が目立つ。青灰色新鮮部を一部含むが全体は茶褐色に風化変質してコアは指圧で容易に弱れて粗砂状、凝混しり砂状となる。	100			3.15	30/30				333			0.4	60		
6										6.5mに幅2～4mmの変質脈が60～70°をなす。	100			3.45	43/30				545			1.0	清水 / 20.0	20.0	
7	33.80	6.90									100		2/ 7 7/ 95	4.45	50/28				353			0.3	60		
8				流紋岩	褐灰					6.9～9.7mは70°、幅約1mの断層破砕帯で、コアは凝混しり粘土状～礫状をなし、脆弱で軟質。コア採取率85%程度。	100			5.15	50/28				316						
9										9.75mに約60°のせん断面(断层面)で、上部は粘土状コア、下位は礫状～短棒状コアで硬質。	100			5.43	50/28				353			0.0	無水 / 0.0	0.0	
10	31.00	9.70									100			6.10	50/20				111			0.5	80		
11				流紋岩	淡青灰					9.7～11.8mは短棒状コア主体の結晶質凝灰岩でコアは概ね硬質だがハンマー打撃で崩れやすい。弱い変質がみられる。	100	CL		7.15	50/29				64			0.2	100		
12	28.90	11.80									100			7.44	50/25				113						
13	28.00	12.70		流紋岩	茶灰					11.8～12.7mは茶褐～黄灰色に強く変質した変質帯あるいは断層でコアは軟質。12.7mに60°の変質脈。	100	CL		8.15	50/8				138						
14											100			8.40	50/10				133			10.0	清水 / 10.0	10.0	
15				流紋岩	淡青灰					12.7m以深は青灰色新鮮部と茶褐色風化部が混在した弱風化部～新鮮部よりなり、コアは短棒状～礫状でハンマー打撃で大部分は金属音を発する。	100			9.05	50/10				100			0.1	140		
16										岩相は中粒組織の結晶質凝灰岩で、塊状無層理である。	100			9.24	50/5				92						
17											100			10.00	50/5				86						
18	22.70	18.00								45～60°の白色変質脈が多くみられ、変質している。岩片は概ね硬質だが割れ目沿いの一部は軟質である。	100			11.00	50/8				133						
19											100			12.10	50/10										

株式会社ヒロコン